教育目標に関する保護者アンケートまとめ

１　はじめに

現在の本校の教育目標は、「・進んで学ぶ生徒・思いやりのある生徒・健康な生徒」です。よくある「知・徳・体」の教育目標となっています。特に不都合があるものではありませんが、これからの複雑な世の中を生き抜いていく力を意識した内容ではないと思います。

進んで学ぶ生徒は、自分から進んで学習に取り組むといった場合、与えられた課題に対して自主的に取り組むといったイメージで作られたものだと思います。しかしこれからの社会を生き抜くためには、課題の発見から解決策を考え実践していくといった一連の取り組みができる、主体性が非常に重要であると考えます。そのため、自主的な学びよりも主体的な学びを強調したいと考えます。

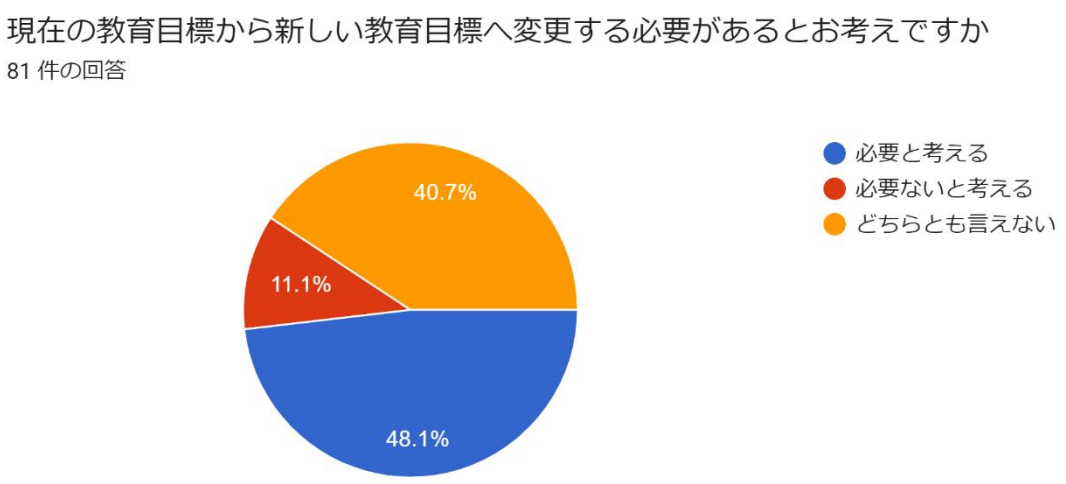
思いやりの心情は、人が人として社会生活を送る中で、最も大切な心情であると思います。しかし、生徒たちはともすると、この思いやりを単に他者を尊重するだけにとどまり、本当の意味での思いやりになっていない場合があります。思いやりは、時には否定的な考えを理論的に伝えることも必要です。単なる受容であってはなりません。マジョリティーのマイノリティーに対する気配りを、ともすると思いやりととらえられてしまいます。マイノリティーは一つの個性ととらえ、その個性を皆が尊重し、仲良く共に力を合わせて生活していくことが非常に大切です。要するに多様性の尊重ということになります。

生徒の健康は、何事にも主体的に取り組むことができれば、自己の健康管理についても主体的に取り組むことができ、健康管理も適切に行えると思います。他にも主体的な行動には、自分たちの学校生活をより快適なものに変えていこうとすることや、もしかすると中学生発信で、社会の仕組みを変えることもできるかもしれません。

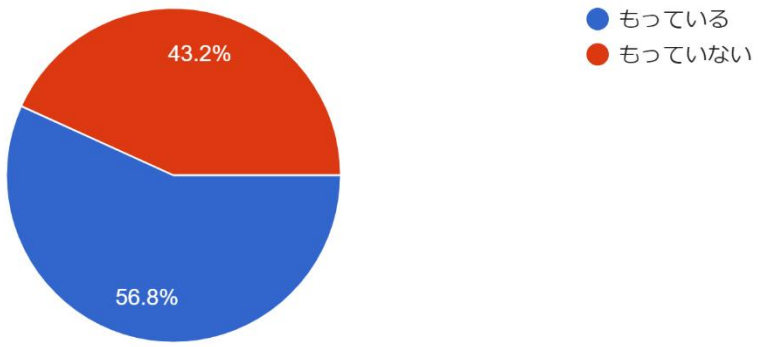
このようなことから、教育目標を変えようと考えました。新しい教育目標を考えるときのキーワードは、多様性と主体性です。また、一生懸命何かに取り組もうとすると、やはり夢や目標といったものがあるとないとでは、かなり違ってくると思います。そのため、夢・目標もキーワードとしました。

また、教育目標は学校が出すエビデンスのようなものととらえると、〇〇な生徒とするよりは、〇〇な生徒を育成するとし、全教職員がその目標に向けて尽力していきたいと考えています。そして、生徒たちにはそれぞれそのような環境で、どのような自分になりたいのかといったことをしっかり考えて、日々の学習に励んでほしいと思っています。

２　アンケート結果



お子さんに身に着けさせたい力などを鑑みて、教育目標についてなにかお考えをおもちですか。
81 件の回答



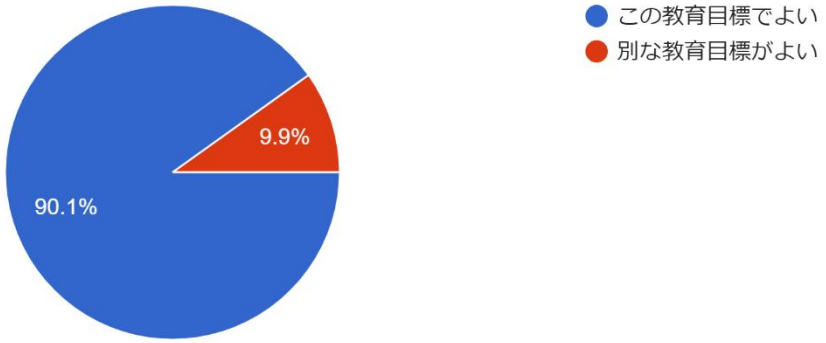
- 教育目標に対する考え

自分から主体的に学ぶ力を身につける
事件が多い世の中になってしまいました。人に迷惑や、嫌がる事をしては絶対にいけないと教えています。 あと、困っている人を見たら助けてあげなさい。おてんとう様は、いつも見ているんだよと言っております。
人それぞれの個性を尊重することです。
自分で考え行動、多様性の許容、失敗を恐れずチャレンジ
社会を生き抜く力（何か 1 つ自信の持てるものを身に付ける）
自分で考え行動する力や、周りの人たちと協力して課題をクリアしていける力、よく食べよく寝てよく遊ぶ基本的なことも大切に生きて欲しいと考えています。
人と関わる力。コミュニーケーション能力
「失敗を恐れず、失敗こそバネにして前に進む力を身につける」が我が家の教育の中心にあります。中学受験でも自分の学力よりも遥かに上の学校を志望していましたが、否定せずに応援しました。どんな目標や夢があってもそれが人生の最終ゴールではないので、どのような結果でもそれは必ず自分の糧になるはずです。少しのミスでも許されない厳しい風潮の世の中で生きていくために、へこたれない精神力を持ってもらいたいと考えています。
グローバル教育・アクティブラーニング
どんな環境でも自分の考えを持つ　失敗を恐れず学び行動する力　人を思いやり仲間を大切にする
あるべき姿と現状とのギャップから、問題（課題）を見出し、そこから対策を導く力。
人と、人として関りをもてるようになってほしいです。IT を人のために活用できるような力をつけてほしいです。
人に迷惑をかけないこと。世間に負けないで生きる力。前を向いて歩いてほしい。
自分の考えで物事に取り組み、失敗しても投げ出さずに問題解決ができる人
自分で考えるちから
世界に目を向けた考え方ができるようになって欲しい。他者と比較せず流されず、自分を持つ、他者を否定せず受け入れる。

素直に「ありがとう」が言える人間であること。
今までの教育目標は、何何する生徒となっています。学校の教室にも掲げてあったと思います。それを見るたび、生徒さんもそういう目標を自覚することがあったと思います。代替案では最後が育成する、となっていて、教員の目標のようです。学校の目標としては素晴らしいですが、生徒みずから目指す、という視点の表現がいいと思います。
自分で考え、解決する
日本特有の「暗記型」教育からの脱却。 思考を張り巡らせ、周りに流されず、物事は「疑い」から多角的に見て、情報を収集し、何が正しい選択なのか、自分で判断できる大人になってもらいたい。
自分で何かに取り組む、自分で考えてみる。
自分の考えを説明する会話力を身に付けさせたい。
自分の意見をしっかり持つ

新教育目標（案）「常に夢や目標をもち、多様性を...する」についてどのようにお考えになりますか。

81 件の回答



- 新教育目標「常に夢や目標をもち、多様性を尊重し主体的に行動できる生徒を育成する」について

常に夢や目標を持つ、に少し違和感がありました。夢や目標を生徒に持たせられるかどうかは、子ども自身ではなく大人にかかっているように思いました。
今の時代、将来の夢や目標を持っているのはいないと思う。この目標は高すぎるのでは？今の五中の生徒に合っているとは思えません。
「常に夢や目標をもち」という部分に、少し重みを感じます。「夢や目標に向かって」のようなニュアンスの方が柔らかく生徒一人ひとりに馴染むような気がします。
困難に負けないことも知って欲しいと思います。
これからの時代　世界へ羽ばたいて行ける様な教育目標で良いと思います！
「常に夢や目標を持ち」みんながそう思えない考えもあると思います。 失敗を恐れずチャレンジしたり、諦めずに取り組むという方向性が良いと思います。
新しい教育目標は、いいと思います。ただ、教育目標を実現するための生徒に不登校の生徒も含めてほしい。コンセプト的には入っているのでしょうが、実態が伴っていない。うちの子は、結局授業受けることが、ほぼなかった。都の問題かもしれないが、不登校であっても同じ教育を受ける機会を設けてほしい。
学校が考える教育目標が本当に良いと思っています。

多様性、主体性、目標は良いと思います。しかし、一部の先生が自分の知っている事以外に関心を示していない気がします。そうすると、生徒個々の良さは伸びず、多様性主体性の目標が実行されません。
夢や多様性も様々なことを知らなくてはわからないので、学校でもたくさんの知識や経験を得ることができる教育をしてほしい。 生徒にただ夢を持てだの多様性を持てと押し付けても何言ってんの？ポカーン？？？とするだけかと。 こども達がいろいろなことを学び深めて、さまざまな視点が持てるよう学校と協力していきたいと思います。
多様性を尊重する、という事が現代に合っていて！良いと思います。
「夢」や「目標」というようなワードは、理想的ではありますが、プレッシャーを感じる子もいるように思います。
方向性については賛同だが、具体的な取り組みが知りたい。
夢や目標を発表する場や実現にむけて行動計画などを立てる練習などを取り入れてほしい。ある程度、具体的な訓練をしないと手始めに何をすべきかわからないはずなので、身に付かないと思います。
目標なのでいいのかとも思いますが、前半部分にはプレッシャーを感じます。また、多様性を尊重しながら目標や夢を持つことを良しとすることに矛盾を感じます。 後半部分は賛同します。 自己否定をしない、どのような自分でも受け入れることができる人になってほしいです。
無理に夢や目標を持たなくてもいいと思います。そのような子どもにも居心地がいい環境であればいいと考えます。具体的にはこれから考えますが。
とても良い目標だと思います。
内容には問題ありません。 ただ、もう少し分りやすい表現にするため短文でくぎりか箇条書きの方が見やすく理解しやすいのでは？
今までの目標が悪いとは思いませんが、生徒の目標であって、教育目標ではないと思いました。新しい目標は、先生方がどのような生徒になってほしいかという熱い思いが伝わってきました。 表現が難しいですが、主体的に行動できていれば夢や目標は見つかるのではないでしょうか。夢は、外からの働きかけで持つものというより、内から湧き出るイメージがあります。 他者への思いやりや尊重はもちろん大事ですが、まずは自分自身を大切にしてほしいと思います。そんなフレーズを入れることもご検討いただけると嬉しいです。 よろしくお願いいたします。
夢や目標は常に無くても良いと思う。先ずはやってみることが大事かと。

３　保護者アンケートに関する考察

①　教育目標対する考えについて

保護者の皆さんが、学校に望むことをいろいろと寄せてくださりました。自分で考える力や失敗を恐れないチャレンジ精神、グローバルな見方考え方、力強く生きる力など、どれも生徒たちにしっかり身につけさせたい力ばかりで、基本的には学校も皆さんとベクトルがそろっていることを、改めて感じました。また、視点を教職員側にするのか生徒側にするのかといったところですが、「はじめに」にも記述しましたが、教育目標は生徒全員に対して教職員が目指すものであり、生徒たちは一人一人違うわけですから、一人一人なりたい自分を目指して毎日の学校生活を送ってほしいと思っています。

② 新教育目標「常に夢や目標をもち、多様性を尊重し主体的に行動できる生徒を育成する」について

常に夢や目標をもつというところに、違和感をもった方が何人かいらっしゃいました。自分の人生の大きな夢や目標をもてることは、素晴らしいことだと思いますが、社会のことをあまりよく理解していないためでしょうか、なかなかもてない生徒も多いのは事実です。しかし、そのような大きな夢や目標がもてなかったとしても、今学期や今月、今日といった目先の目標をもっていれば、とりあえずそこから自身の行動指針を考え、主体的な行動がとれることと思います。そのため、夢や目標というと人生の壮大なものといった印象をおもちになるかもしれませんが、実際にはもう少し身近なものでも良いと考えております。また、夢や目標をもてるのは大人次第や、いろいろなことを学び深めて、さまざまな視点がもてるといったことが大切であるとのご意見もいただいております。本当にその通りだと思います。生徒たちが主体的に行動できるような機会をたくさん作り、個に応じた支援をすることで、生徒たちが夢や目標をもてるよう尽力いたします。

「自分自身を大切に」や「自己否定をしない」などのご意見もありました。新しい教育目標には、これを表現している言葉は含まれておりませんが、多様性の尊重ということは他者のことだけでなく、自分を含めたすべての人を対象としているので、自己有用感や自尊心をしっかりもってもらいたいという考えも含まれていると思っています。

ご意見の中に、「一部の先生が、自分の知っている事以外に関心を示していない気がします。」というものがありました。このように感じさせてしまっていることは、学校として非常に反省しております。自分の知っている事以外に関心を示さないというのが、具体的にどのような場面でそうお感じになったのかわかりませんが、大人にありがちなのが自分の経験則だけで判断してしまうということだと思います。これからの変化の激しい社会で、力強く生き抜いていく力を育もうとしている教員ですから、世間一般以上に多角的に・多面的に物事をとらえ、常に事の本質に迫り生徒を指導していかなくてはならないと思っております。このことについては、今一度教職員に意識させていきたいと思います。

保護者の方の希望として、「不登校であっても同じ教育を受ける機会を設けて欲しい」と「夢や目標を発表する場や、実現に向けて行動計画などを立てる練習などを取り入れてほしい。」というものがありました。不登校支援としては、本年度は授業のネット配信と、週に数日ですが別室指導を行っています。来年度は不登校支援につきましては、もう少し力を入れていく予定です。場所や人について、改善していきたいと思います。夢や目標を発表する場については、今年度９年生で少し行いましたが、夢を語る授業をもう少し発展できたらと思っています。また、行動計画などを立てる練習については、クロムブックを使用して、中長期目標・短期目標を立てさせたり、月予定や週予定を立てさせたり、週ごとのちょっとした目標を立てさせたり毎日振り返りをさせるフォーマットを作成し、生徒たちに活用させたいと考えております。現在β版が出来上がりましたので、内容の修正を加えて来年度から使用できるようにしたいと思います。クロムブックを使用すると、ファイルを生徒と教員が共有できます。いちいちノートを提出してくれなくても、教員が内容を確認したりコメントを書いたりといったことができます。

この他にも、具体的な取り組みを知りたいといったご意見もありましたが、具体的な取り組みにつきましては、毎年４月に示させていただいておりますので、来年度も同様にお伝えいたします。

Society5.0 の社会で生き抜く力、そして今の中学生が４０歳ぐらいの働き盛り、家庭をもち子どもが中学校だ高校だとお金がかかる時に、シンギュラリティ（人工知能が人間の知能を超える瞬間）がやってくるともいわれています。新しい社会で生き抜く力全てを、中学校生活の中で生徒たちに身に着けさせることは不可能ですが、その素地となる主体的に行動できる力や多様性を尊重する心情は、しっかり育成していけるよう尽力してまいります。

板橋区立板橋第五中学校
校長　　太　田　繁　伸